

個人資産と金融リテラシーの関係

【目次】

| | |
|-------------------|------------------|
| はじめに | 第3節 日本と欧米の違い |
| 第1章 経済からの影響 | 第1章 資産家から見た資産の理念 |
| 第2章 個人資産の現状 | 第1節 資産家の金融リテラシー |
| 第1節 家計の現状 | 第2節 資産家の資産の組み方 |
| 第2節 個人資産の形成 | 第2章 個人資産の課題・展望 |
| 第3節 個人資産の割合 | あとがき |
| 第3章 欧米諸国との資産形成の違い | 参考文献 |
| 第1節 日本の個人資産の問題点 | 参考URL |
| 第2節 欧米の個人資産の形成 | |

【目的】

貯蓄から投資へという動きになり、自分のお金は自分で守るという時代である。その中で、日本でも貧富の差が明確になっている。ではなぜ世の中には成功者である富裕層とそうでない貧困層がいるのだろうか。それを左右する大きな違いは金融リテラシーなのである。その金融リテラシーとはお金に対しての知識である。この金融リテラシーが影響を与える個人資産にスポットをあて、私自身もお金を真剣に向き合いながらこの論文を書き記していく。

【方法】

参考文献、インターネット、などからデータ収集、分析をし、金融リテラシーについて考察した。

【結果】

個人資産での課題は、自分の資産の全てを人や国任せにしないことである。そこで大切なキーワードは、「金融リテラシー」である。自己責任の現代に、自身や家族を守るのは自信しかないのである。そのときに金融リテラシーは必ず、手助けをしてくれるはずである。だからこそ今、少しずつでも金融リテラシーを身に付けていき、自分の資産と向き合う必要があるのではないか。

【主な参考文献】

『お金は銀行に預けるな』 光文社新書 2008年 3月

『無税入門』 只野範男 飛鳥新社 2008年 11月

『金持ち父さん、貧乏父さん』 ロバート・キヨサキ+シャロン・レクター 中央精版印刷 2001年 1月

『世界一愚かなお金持ち、日本人』

マダム・ホー 株式会社ディスカヴァー・トゥエンティワン 2008年6月